

ここまでは、イスラ ムがいかにマリアを重要 するかを述べてきました。イスラ ムは彼女が 造された女性の中で最も完全であると なしています。アダムを除く全 言者には母がいたにも わらず、クルア ンでマリア以上に されている女性はいません。クルア ンの全114章において、第19章の“マルアム（マリアのアラビア）”章には彼女の名前が付けられていますが、人の名前が章の 名となっているのは彼女も含めて8人だけです。またクルア ン第3章では、彼女の父 のイムラ ン（エリのアラビア）の名が付けられています。またマルヤム章、イムラ ン章は最も美しい章の一つとしても知られています。更にマリアは、クルア ンで唯一名前を言及されている女性でもあります。言者ムハンマドはこう言っています：

しかしこれまで述べて来た数々の にも わらず、マリアと彼女の息子イエスはただの人であり、人 の持たない特 を持ち合わせることはありませんでした。二人はともに 造物であり、この世に“生まれて”来たのです。二人は神の特 な恩 によって大罪を犯すことはありませんでしたが、小さな いからは免れませんでした。マリア^[2]とするキリスト教と なり、イスラ ムではそういった完全な性 は神以外に存在しないと します。

またマリアにも同 のことが当てはまります。彼女の周りには 々な奇 が起こりましたが、彼女の死 にはそれが止まりました。また「マリアのおかくれもの (Transitus Mariae)」などの 外典に代表される、人々によるマリア出 の目 、彼女に する祈 によってもたらされた助けなどの主 は、唯一かつ真 の神への崇 を妨害することが目的の、サタンによる幻影なのです。アヴェ マリアやロザリオなどに代表される祈祷や称 、または教会による献身やマリアにまつわる数々の祝祭日は、人々が神にそれ以外のものを配 し、神以外のものを称 することを助 するのです。これらの理由により、神のみを崇 し、かれ以外の崇 を拒否するという神の教えの真 を守るため、イスラ ムはあらゆる の宗教的逸脱や墓地での崇 の建 などを禁じているのです。

マリアは神のしもべであり、神によって最も 大の 言者の一人であるイエスの 生という奇 をもたらす母として ばれた、最も な女性でした。彼女は敬虔さと 操の正しさで知られ、そしてまた今 もその 誉を保ち けるのです。彼女の物 は 言者ムハンマドの登 によりクルア ンにおいて

されましたが、それは完全な形のまま 判の日まで不 のものであり けます。

Footnotes:

[\[1\]](#) 世 (3: 16) 参照。

2[2] “Chinese language” ,36

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/23>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。